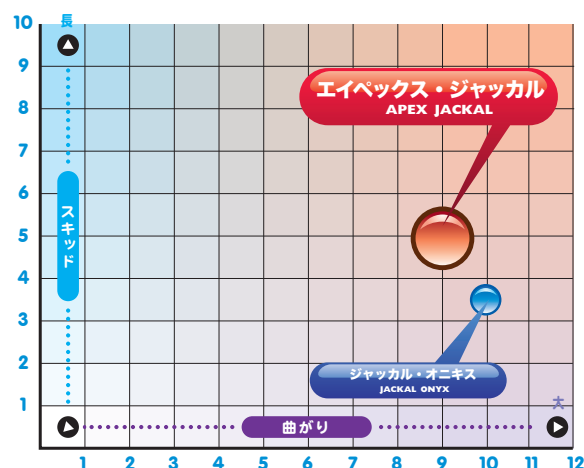
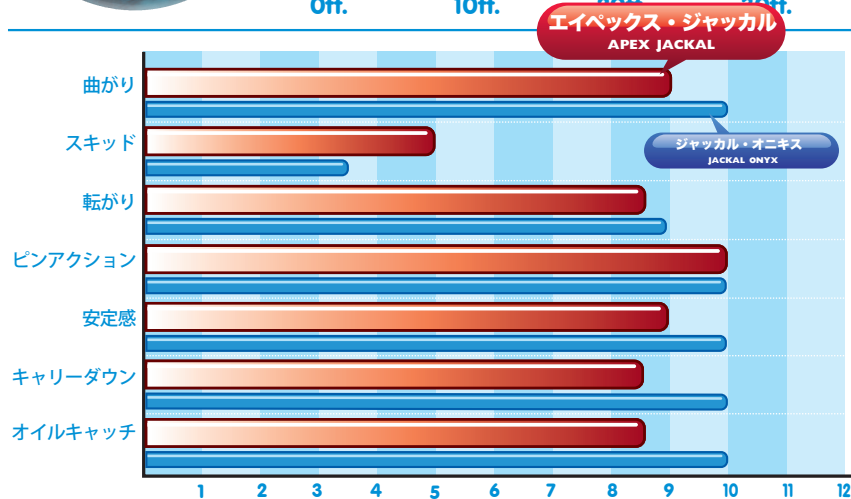
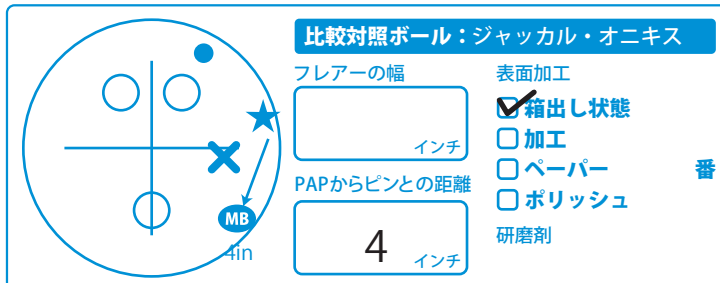
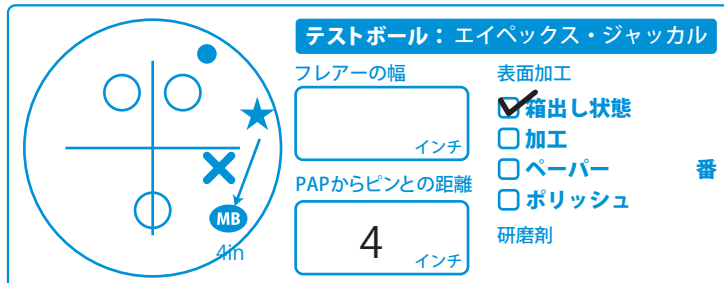


# ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名	エイペックス・ジャッカル	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.520	△RG	0.055	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	



## ボールの評価

JACKALシリーズは、MOTIVの“支配力”の象徴であり続けてきました。しかし、APEX JACKALはその延長線上にあるモデルではなく、JACKALという名を受け継ぎながらも、明確に次元を引き上げた「進化体」となっています。

最大の注目点は、完全新設計となるApex Predatorコアの存在です。従来のPredatorコアが持つ強烈なトラクションと高フレア特性はそのままに、特許出願中のPOWER BAND™コアテクノロジーを採用。コア外周に高密度バンドを配置するという発想が、これまでのJACKALとは異なるエネルギー挙動を生み出しています。

特筆すべきはRG2.52という数値で、これは歴代JACKALの中でも最も高く、フロントでの直進性能が大きく向上しています。前作のJACKAL AMBUSHやGHOSTが「早めに噛み、レーン全体を制圧する」性格だったのに対し、APEX JACKALは一度“溜め”を作り、そこから一気に解放するタイプ。中間差分の増加により、スキッドからフックへの切り替えは非常にシャープで、POWER BANDが生み出す高トルクは、バックエンドでの回転力を失わず、ピン前で爆発的な角度を形成します。

これは単なる鋭さではなく、「角度を維持したまま押し切る」JACKALらしい破壊力です。

カバーストックにはPropulsion MXV Pearlを採用。EVOKE HYSTERIAで実証されたこの素材は、パールでありながら高いオイル耐性を持ち、操作性と攻撃性を高次元で両立します。過去のJACKALがソリッド主体で“掴む”を武器にしていたのに対し、APEX JACKALは「走りと切れ」でレーンを制圧する、新しいJACKAL像を提示しています。

総じてAPEX JACKALは、JACKALシリーズ史上最もアグレッシブで、最も完成度の高いバックエンドリアクションを実現したモデルと言えるでしょう。

## 特記事項

これは単なる追加モデルではなく、JACKALの性能上限を押し広げた、まさに“頂点=APEX”の名にふさわしい一球と言えるでしょう。